



岩崎元郎さんと行く“地球を遠足”&『山の遠足』

ぶらんぶらん通信

2017年 春号

「ヤッテヘ」ナバホ族の言葉で「こんにちは」。4月14日～21日に82回目となる“地球を遠足”でアメリカ・グランドサークルのハイキングを楽しんできた。

一日目、羽田空港を発ち、ロスでの入国審査はスムーズ。国内線に乗り換えてラスベガスまでの飛行時間は1時間足らず。ターンテーブルで現地ツアーリーダーのネイトさんが待っていてくれた。彼の運転する車でザイオン国立公園の玄関口のスプリングデールにむかう。

二日目、午前中はスカウト・ルックアウトまでのハイキング。午後は約2時間でブライスキャニオンへ。色も形もさまざまな岩の尖塔群を見上げながら「ナバホループ」をハイキング。

三日目、早朝ブライスキャニオンの日の出を眺める。ホテルに戻って朝食を済まし、約6

時間のドライブでキャニオンランズ国立公園へ。グランドビューポイントへのハイキングを楽しんだ後、モアブの街のホテルへ。

四日目、アーチズ国立公園を訪ね、ユタ州のシンボルに指定されているデリケートアーチまで往復ハイキング。昼食後、モニュメントバレーに移動。ここはネイティブ・アメリカンの中で最大部族であるナバホ族の居留地。冒頭の「こんにちは」は、「ヤッテヘ」なのである。荒涼とした大地に点在するピュート(残丘)を眺めながらバレー・ドライブを楽しんだ後、ケイエンタの街に戻る。

五日目、待望のアンテロープキャニオンの散策。この衝撃的な魅力は、行って観て頂くしかない。感動を胸に3時間ほどのドライブでグランドキャニオンへ。楽しみにしていたサン

セットは雲に邪魔されてしまったが、翌朝の日の出はバッチリだった。朝食後、リムトレイルをハイキングしてグランドキャニオンを満喫。あっという間に帰国の途につく時がきた。ラスベガスに戻る。

七日目。早朝ラスベガスをたち、ロスで乗り換えて11時間の空の旅。八日目。無事、羽田空港に着陸した。

2005年3月にスタートした“地球を遠足”も、楽しいの連続で82回を数えた。今後も6月上旬にスペイン、6月下旬にモンゴル、7月にスイス、9月にアシニボインロッジへと続きます。岩崎と一緒に、とことん楽しみましょう。



岩崎 元郎
(いわさき もとお)



北漢山 (10月 韓国)



黄山 (11月 中国)



ジオパーク (12月 香港Aコース)



シャープピーク (12月 香港Bコース)



しらびそ小屋 (12月 北八ヶ岳)



徳倉山 (1月 沼津アルプス)



ルアペフ山 (2月 ニューゼaland)



済州オルレ (3月 韓国)

“地球を遠足” 第86回



秋のアシニボイン・ロッジと レイクルイズ滞在 9日間

- 旅行期間：9月14日(木)～9月22日(金)
- 旅行代金：620,000円 東京発着 (定員：10名)

※燃油サーチャージ(4月20日現在：目安約14,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

詳しくは、専用チラシをご請求ください。



▲カナダの名峰アシニボインと快適なロッジ



▲ナブピークから絶景のMt. アシニボインを望む

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第490号/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 **アルパインツアーサービス株式会社**

東京 / 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 (第7東洋海事ビル4階) ☎03 (3503) 1911

大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階) ☎06 (6444) 3033

名古屋 / 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 (第3千福ビル3階) ☎052 (581) 3211

福岡 / 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階) ☎092 (715) 1557

広島 / 広島サービスステーション (大阪支店転送電話) ☎082 (542) 1660

仙台 / 仙台サービスステーション (東京本社転送電話) ☎022 (265) 4611

北海道 / 北海道地区総代理店(株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目 ☎011 (711) 7106

e-mail: info@alpine-tour.com <http://www.alpine-tour.com>

※ツアー・カタログはお電話、または E-mail にてご請求ください。

☎03 (3503) 1911 FAX.03 (3508) 2529

☎06 (6444) 3033 FAX.06 (6444) 3032

☎052 (581) 3211 FAX.052 (561) 8338

☎092 (715) 1557 FAX.092 (715) 0826

☎082 (542) 1660

☎022 (265) 4611

☎011 (711) 7106 FAX.011 (731) 1456

営業時間のお知らせ


●平日：9:30～18:30 ●土日祝：定休

りんゆう観光営業時間 ●平日、土曜日、祝日：9:00～17:00 ●日曜：定休




“地球を遠足”メンバー紹介


“地球を遠足”は今年で13年目を迎えます。岩崎元郎さんとお客さま皆さままで作り上げてきた“地球を遠足”と『山の遠足』を、これからも、もっともっと楽しんでいただけるように、チーム・スタッフ一同がんばってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。




岩崎 元郎
 (いわさき もとお)
 日本が元気を取り戻すために「一億二千万人総登山者化計画」を提唱。『ぼくの新日本百名山』、『今そこにある山の危険』など著書も多数。無名山塾主宰、登山インストラクター。




芹澤 健一
 (せりざわ けんいち)
 東京本社
 山仲間が笑顔で出会える、楽しく笑いに溢れるツアー運営を目指します。“地球を遠足”スタッフが大切にしているメッセージをお届けします。




山田 勝
 (やまだ まさる)
 東京本社
 初夏の九州ミヤマキリシマ、夏のみちの名峰、ゆったり富士山、紅葉の上州など、今後の『山の遠足』シリーズもご期待ください。




川高 雄
 (かわたか ゆう)
 東京本社
 何か新しいことに挑戦したくなる季節です。10月には地震被害の大きかったランタン谷を、2月には鏡張りのウユニ塩湖も準備中です。




伊藤 勇太郎
 (いとう ゆうたろう)
 東京本社
 3月に菜の花咲く済州オルデと一緒に。1月にはスリランカのアダムズピーク登頂を準備中です。ぜひ、ご期待ください。




寺井 信之
 (てらい のぶゆき)
 東京本社
 桜咲く春になりました。“地球を遠足”も、桜のように待ち遠しいと皆さまに思っていただけのようにしたいなあと思う今日この頃です。




白旗 美紀
 (しらはた みき)
 東京本社
 “地球を遠足”の笑顔の橋渡しとなるよう若手パワーを代表して盛り上げていきます!皆さまにお会いできる事を楽しみにしています。




林 知篤
 (はやし のりあつ)
 東京本社
 “地球を遠足”のご旅行中に、皆さまに一味違った面白さを体験していただけるような企画作りができるよう日々取り組んでいます。




橋本 香織
 (はしもと かおり)
 ツアーリーダー
 福島在住。今夏は6月にスペインカナリア諸島・テイデ山と7月のスイス・ハイキングに同行することを楽しみにしています。




竹森 壮孝
 (たけもり まさたか)
 大阪支店
 “地球を遠足”チームに加わり早8年目。今後も西日本から盛り上げてまいります!今年も皆さまにお会いできることを楽しみにしています。




三木 晃一
 (みき こういち)
 大阪支店
 最近国内外のツアーで花を求めて飛び回っております。11月出発予定のタスマニアは固有種が非常に多く、おすすめです!



前田 拓哉
 (まえだ たくや)
 名古屋営業所
 “地球を遠足”が発足した2005年に入社。持ち前の「おもてなし精神」には自信があり、ツアー中のサプライズに乞うご期待!



宇津木 健
 (うつぎ けん)
 名古屋営業所
 探検部出身で好奇心旺盛。温厚な人柄をモットーに、笑顔を忘れず山旅のお手伝い! 2児の父親になり、公私とも日々奮闘中。



渡部 秀樹
 (わたなべ ひでき)
 福岡営業所
 旅のモットーは何かひとつでも目からウロコが落ちること。終わった後に気が付きがあるような旅を目指したいと思っています。

2016年 番外・特別企画 11月13日出発 天下の絶景・黄山と三清山トレッキング、杭州探訪 6日間

文：伊藤 勇太郎(東京本社)

昨年11月には、中国の黄山と三清山に訪れました。番外・特別企画として急遽発表されたものの19名もの皆さまにご参加いただき、大変ご好評いただきました。ツアーリーダーは、志水三智子と私の2名が同行し、さらに黄山に詳しい韓国のキム・ジンソク氏も現地でご一緒してくれました。

まずは旅の起点となる、浙江省の杭州へ。全日空の直行便で4時間の快適な空の旅でした。ここからは、三清山まで6時間ほどのドライブです。安徽省に入ると車窓から「馬頭牆(ばとうしょう)と呼ばれる漆喰の白壁の民家が見え、日本の「うだつ」によく似た伝統家屋の説明に興味津々でした。

翌日は、黄山の前哨戦となる三清山のハイキングへ。霧や雲の間から見え隠れする岩峰群に歓声をあげながら、岩壁に張り巡らされた回廊状の栈道を歩きました。「黄山はこの何倍も迫力のある景色が続きますよ～」のキムさんの言葉に、黄山への期待に胸が膨らみます。

翌日からはいよいよ3日間の黄山トレッキングです。ヨーロッパ製のロープウェーを利用して黄山の山頂部へ登ります。ごみ一つ落ちていない登山道や掃除の行き届いた清潔なトイレにご参加者の間からも驚きの声があります。小雨の降る中、孫悟空が筋斗雲に乗って姿を現すような景色の広がる西海大

渓谷から黄山のホテルへ。山の上にあるなら、暖房も完備された快適なホテルでした。翌日以降もあいにくの天気が続いたものの、急な岩肌へへばりつくように作られた石段を登り、樹齢100年を超える黄山松や時折現れる怪石に目を奪われながら、笑顔でトレッキングを楽しみました。ハイライトは、奇跡的に晴れた獅子峰での日の出でした。朝日が幾筋もの光となって、花崗岩の石柱や峰々を照らす荘厳なひと時を過ごしました。

旅の最後は、西湖の遊覧など杭州の見どころを見学し、豚の角煮の原型である東坡肉をはじめとした杭州料理に舌鼓を打って、一路、帰国の途へ就いたのでした。



▲霧の間から岩峰群がそそり立つ三清山



▲獅子峰から眺める幻想的な日の出



▲笑顔でトレッキングを楽しみました



第79回

2016年 12月7日出発 Aコース 香港ゆったりハイキング 4日間
12月8日出発 Bコース 香港の名峰シャープピーク登頂 4日間

文：橋本 香織(福島在住ツアーリーダー)、山田 勝(東京本社)

“地球を遠足”第79回は、AとBコースに分かれて4日間の香港の山旅を実施。Aコースは「香港ゆったりハイキング」。12月7日に北は青森、西は兵庫からのご参加者13名、ガイドのゾイさんとも香港空港で合流し旅がスタート。まずはビクトリア・ピークへ行き、遊歩道を散策、展望台から夜景観賞。夕食は岩崎さんも楽しみにされていた「杭州料理」で期待通り美味でした。

12月8日、Aコースはジオパーク・ハイキングへ。巨大な六角状節理を眺めて撮影後、変化に富んだトレイルを海に浮かぶ島や美しい入り江の風景を楽しみながら、しっかり歩きました。Bコースは「香港の名峰シャープピーク登頂」。ご参加者は13名。Aコースより

1日遅く12月8日に香港到着し、ガイドのステーブンさんとビクトリア・ピークへ。夕景の摩天楼と海の展望ハイキングで、1日目は足慣らしとなりました。

12月9日は、A、Bコースが一緒となり、岩崎さんと香港では毎回おなじみの森Qガイド(森久三代子さん)の案内でハイジャンクピーク(344m)へ。午後からは左右に海を眺めながらドラゴンズバックの稜線歩きを楽しみました。人気コースとあって地元の人も多く歩いており、日本人とわかるとたくさん話しかけてくれました。夜もA、Bグループ合同の夕食会。有名人も通う名店「北京楼」で、北京ダックほか北京料理を味わいながら賑やかなひと時でした。

12月10日、Bコースはツアーのメインとなるシャープピーク(468m)へ。晴天の中、海岸から顕著な山頂を目指します。気温も上昇し、こまめな水分摂取を心がけて一歩一歩山頂へ。時折、海風が心地よく展望が広がってくると間もなく待望の頂上へ！帰路の船の出航時間を気かけながら下山。Aコースは最終日となり香港島からフェリーでラマ島に上陸、午前中のんびりとラマ島縦断ハイキングを楽しみ、帰国の途へ。

12月11日、Bコース最終日、日曜の朝、静かで空いる道を滑るように九龍エリアのライオンロック(495m)登山口へ。ライオンの横顔と高層ビル群の展望が印象的な登山となり、ツアー終了。

A、Bコースともに連日、天候も良く、日中は香港の自然や街並みなどの展望に恵まれ、夜はクリスマス・シーズンに入った香港のイルミネーションの美しさと多彩な食も堪能し、短いながら香港の魅力が詰まった“地球を遠足”ツアーとなりました。



▲A,Bコース合同で好展望のドラゴンズバックへ



▲ABコース合同での賑やかな夕食会

第80回

2017年 2月22日出発 ニューゼaland南北周遊ハイキング、トンガリロ国立公園とサザンアルプス 9日間

文：芹澤 健一(東京本社)

記念すべき“地球を遠足”第80回は、南半球ニュージーランドの北島と南島の両方を訪れる特別なプランでした。南北を代表する山を一度に訪れる日程に魅せられてご参加を決めたという声が多く聞かれ、まさに“地球を遠足”ならではの企画となりました。

旅の前半は、北島中央部に広がる火山群トンガリロ国立公園を訪れました。1894年にNZ初の国立公園として誕生し、その後、先住民マオリ族の聖地としての文化的要素も認められ世界複合遺産に拡大登録された場所でもあります。ここでは、有名なシャトー・トンガリロにゆったりと3連泊。北島最高峰ルアペフ山ドーム・ピーク(2,672m)登山と

ガリロ・クロッシングのレッド・クレーター往復ハイキングを満喫しました。

旅の後半は、いよいよ南島です。クイーンズタウンに立ち寄り、ワカティブ湖の美しい景色を眺めながらヘイズ湖、アロータウンを経由してワナカ湖畔のワナカへ。夕食に立ち寄ったカドローナのレストランは、後半戦のガイド兼ドライバーとして大活躍してくれたリチャードがウェディングを挙げた思い出の場所でした。ワナカでは、マウントアスパイアリング国立公園マツキツキ谷のロブ・ロイ氷河展望ハイキングへ。翌日は、専用車でリングダス峠を越え、エメラルドブルーに輝くブカキ湖畔を北上し、3,000mの氷河峰が連な

るアオラキ・マウントクック国立公園へ移動。NZ最高峰アオラキMt.クック山(3,754m)南壁を仰ぎ見るフッカー谷のハイキングを楽しみました。そして、夜には、星空観賞へ出かけ、南十字星や満点の夜空に広がる天体の輝きと、何億光年という遙かな時の流れにしばし酔いしれたのでした。旅の最後は、南島で巡る5つ目の湖となるテカポ湖でサザンアルプスの山を思う存分に堪能したのでした。

連日の快晴に恵まれたことは、皆さまの強運なのか、あるいは岩崎さんが晴れ男なのか、いやいや私のおかげなのか。最後までみんなの笑顔が爆発しっぱなしの素晴らしいニュージーランドの山旅となりました。



▲ナウルホへ山を望むトンガリロ・クロッシング



▲ロブ・ロイ氷河展望ハイキングでの集合写真



▲マウントクック山麓のフッカー谷を歩く

“地球を遠足” & 『山の遠足』 2017年のご案内

2005年3月のネパールのトレッキングからスタートした“地球を遠足”シリーズは、登山インストラクターの岩崎元郎さんと地球のあちこちへと出かける山旅です。岩崎さんとツアーリーダーが同行いたしますので、海外トレッキングが初めてという方

にも安心してご参加いただけます。また、『山の遠足』は岩崎さんおすすめの日本各地の山と温泉などを訪ね、四季折々のその土地の文化や郷土料理も楽しめる国内企画の人気シリーズです。ぜひ“地球を遠足”『山の遠足』で一緒しましょう。

“地球を遠足” 第86回



秋のアシニボイン・ロッジと レイクルイズ滞在 9日間

● 旅行期間：9月14日(木)～9月22日(金)

● 旅行代金：620,000円 東京発着 (定員：10名)

※燃油サーチャージ(4月20日現在：目安約14,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

秀峰Mt.アシニボインを目の前にのぞむアシニボイン・ロッジと、カナディアン・ロッキーの宝石として有名なレイクルイズに宿泊し、人気のハイキングコースへ毎日ご案内します。絶好のロケーションと快適な滞在が人気のアシニボイン・ロッジは、世界中のハイカーの憧れです。秋色に染まるロッキーの大自然をたっぷりとお楽しみください。



▲アシニボイン(3,618m)を投影するレイク・メイゴック



▲アシニボイン・ロッジへはヘリで入山



▲ロッジに3連泊し変化に富んだハイキングコースのご案内



▲アンティークな家具が並ぶロッジのリビングにて

第87回

ネパール・ランタン谷 トレッキング 10日間

● 旅行期間：10月30日(月)～11月8日(水)



“世界で最も美しい谷の一つ”と誉れ高いランタン谷へ。ヘリコプターで入山し、U字谷の登山道をトレッキング。山群の中心地キャンジゴンパに2連泊します。

7月上旬発表予定



▲ガンチェンボ(6,387m)に向かって

第88回

タスマニア島 ハイキング 10日間

● 旅行期間：11月中旬



タスマニア島は、太古の昔に氷河によって造り上げられた自然が広がる美しい島です。クレイドルマウンテンをはじめとした国立公園でハイキングを満喫します。

7月上旬発表予定



▲クレイドルマウンテンをバックに

第89回

聖山アダムズ・ピーク登頂と スリランカの5つの世界遺産 8日間

● 旅行期間：1月中旬



赤道近くに浮かぶ島スリランカへ。世界屈指の紅茶畑の広がる中央高地を訪ね、アダムズピークの登頂に加え、シーギリヤ・ロックなど5つの世界遺産を探訪。

8月上旬発表予定



▲参道より望む聖山アダムズ・ピーク

第90回

ボリビア・雨季のウユニ塩湖と 太陽の島滞在 11日間

● 旅行期間：2月上旬



“天空の鏡”とも呼ばれる水を湛えた雨季のウユニ塩湖で幻想的な世界を堪能。旅の後半はインカ帝国発祥の地であるチチカカ湖に浮かぶ太陽の島に滞在します。

8月上旬発表予定



▲青と白の世界が広がるウユニ塩湖

山の遠足

みちのく名峰 八甲田と岩木山登頂と 五所川原立佞武多祭り 4日間

● 旅行期間：8月3日(木)～8月6日(日)

● 旅行代金：98,000円 JR新青森駅または青森空港

■ 集合：JR新青森駅11:30または青森空港12:00 ■ 解散：蕨温泉(午前予定)

■ 最少催行人数：15人 ■ 食事：朝3回、昼1回、夕2回

みちのくの名峰登山と温泉、お祭りをお楽しみいただく『山の遠足』です。蕨温泉に3連泊し、八甲田山と岩木山に登頂。毛無岱湿原のお花や山頂からの展望を満喫します。3日目には、壮大な山車が魅力の五所川原の立佞武多祭りを見学します。



▲迫力の立佞武多(たちねぶた)

山の遠足

馬返し・一合目から山頂へ 富士山登頂 3日間

● 旅行期間：8月13日(日)～8月15日(火)

● 旅行代金：46,000円 富士急行・富士山駅発着

■ 集合：富士急行・富士山駅10:40 ■ 解散：富士急行・富士山駅11:00(予定)

■ 最少催行人数：12人 ■ 食事：朝2回、昼0回、夕2回

毎年恒例の一合目から登る富士登山です。馬返し(1,430m)から登り始め、佐藤小屋(2,227m)に連泊。岩崎元郎さんと一歩一歩、ゆっくりゆっくり山頂を目指します。かつての富士講の登山道をたどり、日本最高峰の頂に立つ達成感は格別です。



▲五合目・佐藤小屋にて

各コースの詳細につきましては、専用チラシをご用意しております。お気軽にご請求ください。